

株式会社くふうカンパニー

2019年9月期 連結決算 説明資料

2019.11.14



- 1. 2019年9月期 連結業績ハイライト
及び 2020年9月期 連結業績予想**
- 2. 2019年9月期 連結業績**
- 3. 結婚関連事業**
- 4. 金融関連事業**
- 5. 不動産関連事業**



1. 2019年9月期 連結業績ハイライト 及び 2020年9月期 連結業績予想

グループ構成



当連結会計年度において3社 (アールキューブ社、Zaim社、フルスロットルズ社) の株式取得に加え
4社 (保険のくふう社、Da Vinci Studio社、おうちのアドバイザー社、くらしにくふう社) を新設、
ふくろう少額短期保険社は取得に向けて進行中

くふうグループ

結婚関連事業



株式会社みんなのウェディング

RCUBE

株式会社アールキューブ
(2018年11月取得)



株式会社フルスロットルズ
(2019年6月取得)

不動産関連事業

オウチーノ

株式会社オウチーノ



株式会社Seven Signatures
International

おうちのアドバイザー

株式会社おうちのアドバイザー
(2018年12月新設)

金融関連事業



株式会社Zaim
(2019年1月取得)



保険のくふう

株式会社保険のくふう
(2018年11月新設)

Da Vinci Studio

株式会社Da Vinci Studio
(2018年11月新設)

くらしにくふう

株式会社くらしにくふう
(2019年7月新設)



くふうカンパニー

株式会社くふうカンパニー



2019年9月期の連結業績は、売上高 4,493百万円、営業利益 270百万円、EBITDA 464百万円 → 利益上振れに伴い、11月1日付で業績予想を上方修正

＜利益上振れの主な要因は以下の通り＞

- 結婚関連事業は「結婚式開催数」を重要指標に設定して3社の運営一体化を推進、結婚式プロデュースサービスが想定を上回るペースで伸長
- 不動産関連事業はオウチーノ社の黒字転換とその後の堅調な利益推移が寄与、SSI社^{*1}の富裕層向け事業の業績は四半期ベースで強弱があるものの通期ベースで上振れ
- 金融関連事業^{*2}はZaim社が環境を見極めながら投資を進めた結果、当期は支出を抑制
- その他事業はくらしに関する総合情報メディア「ヨムーノ」の利用者数急増により、広告収益が拡大^{*3}

*1 SSI社 = 株式会社Seven Signatures International

*2 金融関連事業は、セグメント分類上「その他」区分に計上

*3 2019年7月1日付で、株式会社オウチーノのメディア事業である「ヨムーノ」を会社分割し、新設会社である株式会社くらしにくふうに承継（同社はセグメント分類上「その他」区分に計上）

2020年9月期の連結業績予想



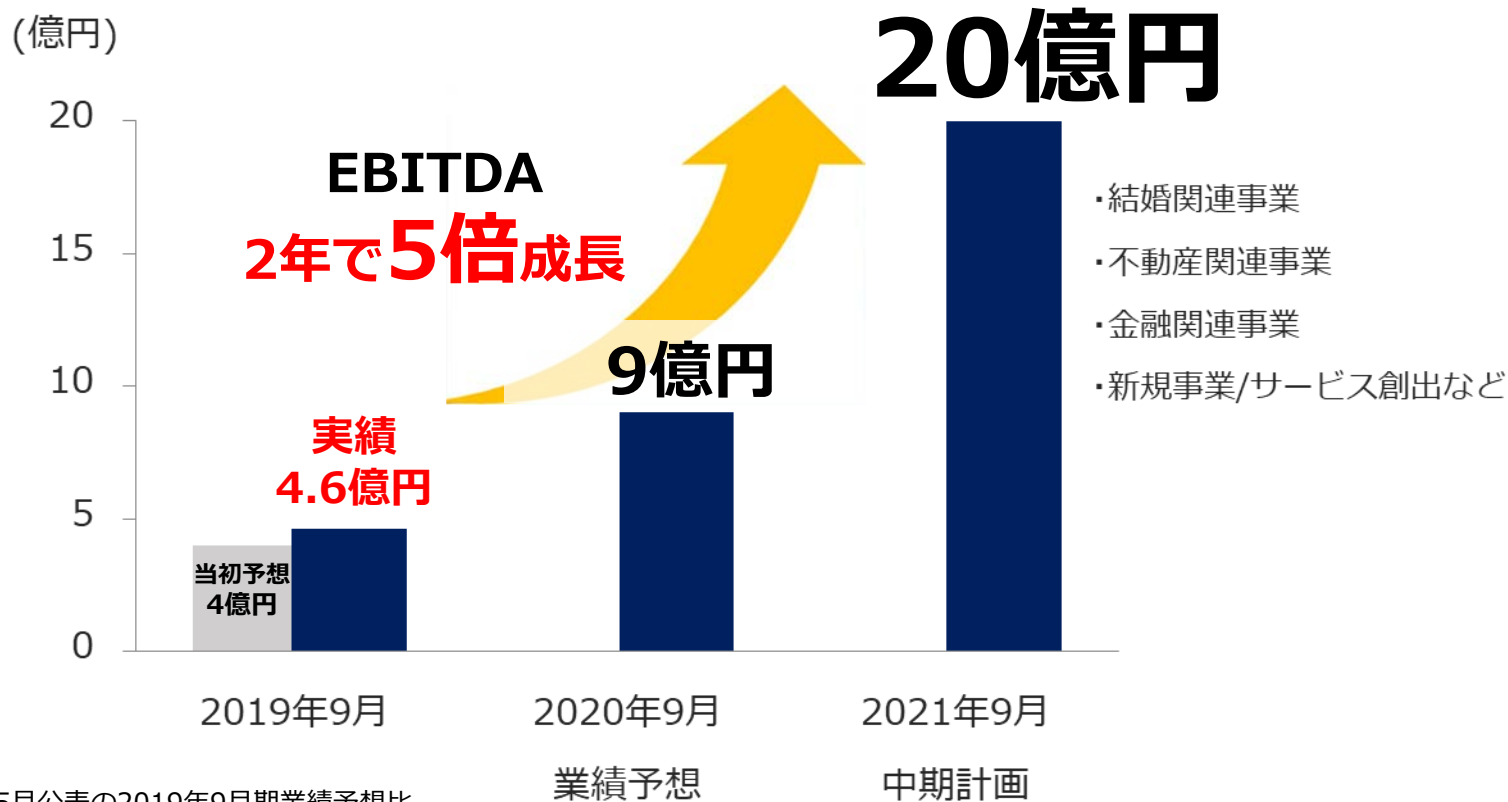
通期で売上高 60億円、営業利益 6億円、EBITDA 9億円の着地を見込む

(単位:百万円)	19/9期			20/9期	
	実績	当初業績予想	達成率	業績予想	前期比
売上高	4,493	4,500	99.8%	6,000	133.5%
営業利益	270	200	135.1%	600	222.0%
EBITDA	464	400	116.1%	900	193.8%

中期の経営定量目標 EBITDA



2021年9月期にEBITDA 20億円、2年で5倍成長を目指す*1



*1 2019年5月公表の2019年9月期業績予想比



2. 2019年9月期 連結業績

連結業績 PL



四半期ベースでは期が進むにつれて業績が向上、通期の営業利益は270百万円
(達成率135.2%)、EBITDAは464百万円 (116.2%) で着地

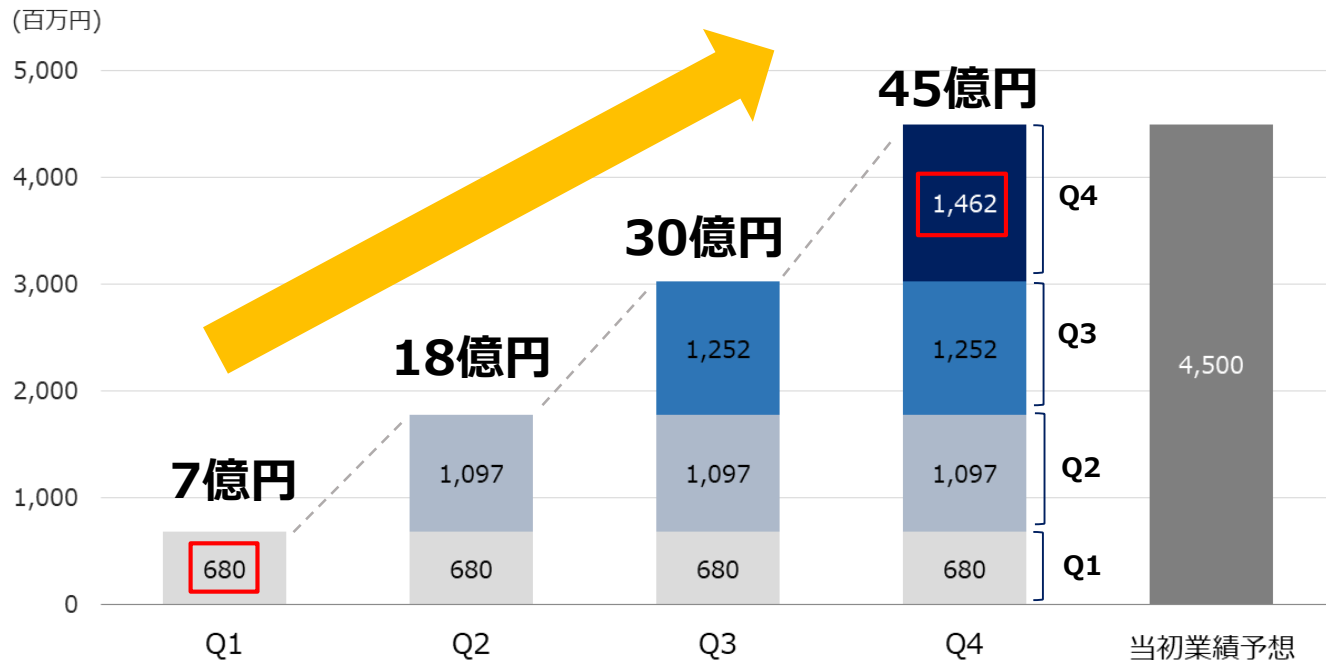
(単位:百万円)	19/9期	19/9期	19/9期	19/9期		19/9期		
	Q1 (参考)	Q2 (参考)	Q3 (参考)	Q4	前四半期比	通期	当初業績予想	達成率
売上高	680	1,097	1,252	1,462	116.7%	4,493	4,500	99.8%
営業利益	29	26	96	118	123.2%	270	200	135.1%
EBITDA	46	67	163	186	114.0%	464	400	116.1%

* 株式会社フルスロットルズを第4四半期よりPL連結

連結業績 売上高推移



四半期ベースの売上高は、Q1の7億円からQ4の14億円へ2倍に拡大



保険のくふう社、Da Vinci Studio社、
おうちのアドバイザー社を新設

アールキューブ社を
連結開始

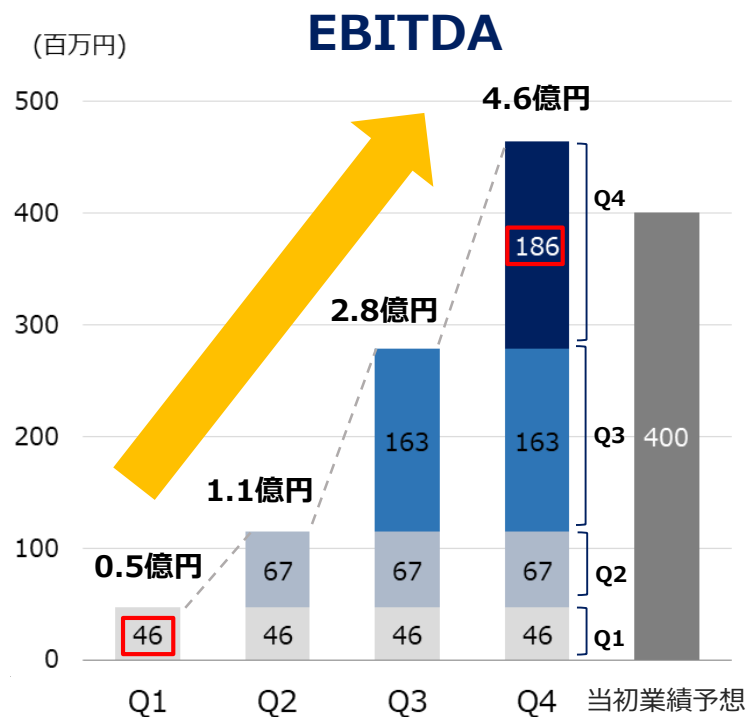
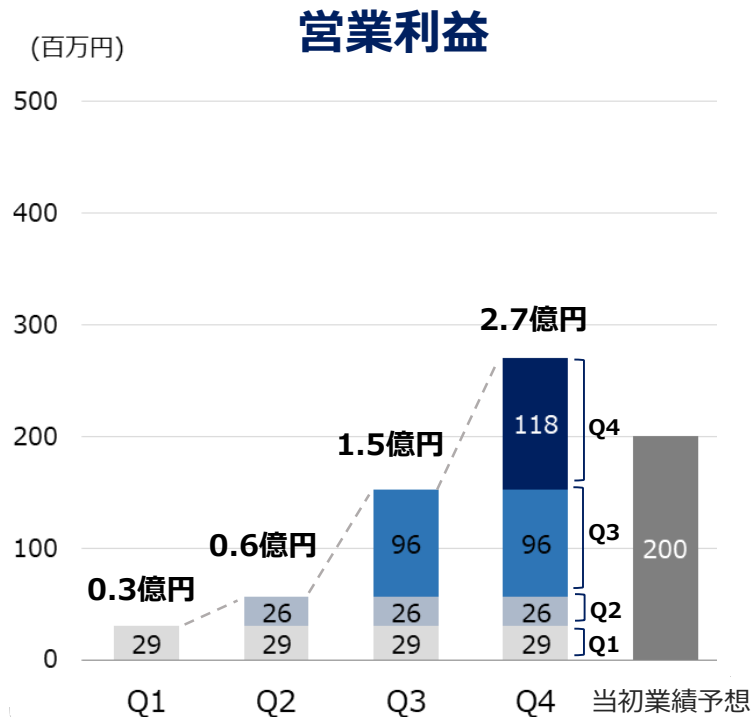
Zaim社を
連結開始

フルスロットルズ社を連結開始、
くらしにくふう社を新設

連結業績 営業利益・EBITDA推移



四半期ベースのEBITDAは、Q1の0.5億円からQ4の1.9億円へ約4倍に拡大



* 新設会社および取得会社の連結時期は売上高と同じ

連結業績 セグメント別 売上高



結婚関連事業は順調に拡大、不動産関連事業は富裕層向け事業の売上計上時期のずれとメディア事業の分社化によりQ4は前四半期比減収

(単位:百万円)		19/9期	19/9期	19/9期	19/9期	19/9期	19/9期
		Q1 (参考)	Q2 (参考)	Q3 (参考)	Q4	前四半期比	通期
売上高	結婚関連事業	394	892	942	1,146	121.6%	3,375
	不動産関連事業	285	203	244	180	73.9%	914
	その他	-	6	69	142	204.3%	218
	調整額	-	△4	△4	△7	170.5%	△15

* 結婚関連事業において、株式会社フルスロットルズを第4四半期よりPL連結

* 2019年7月1日付で、株式会社オウチーノのメディア事業である「ヨムーン」を会社分割し、新設会社である株式会社くらしにくふうに承継 (同社はセグメント分類上「その他」区分に計上)

連結業績 セグメント別 営業利益・EBITDA



結婚関連事業は増収に伴い利益が拡大、不動産関連事業は下期黒字化、その他もQ4は黒字に転換

		(単位:百万円)					
		19/9期 Q1 (参考)	19/9期 Q2 (参考)	19/9期 Q3 (参考)	19/9期 Q4	前四半期比	19/9期 通期
営業利益	結婚関連事業	133	136	148	184	124.5%	602
	不動産関連事業	△88	△34	35	8	23.1%	△80
	その他	△2	△18	△5	12	-	△13
	調整額	△12	△57	△81	△87	-	△238
EBITDA	結婚関連事業	142	147	160	197	122.7%	648
	不動産関連事業	△85	△32	37	10	28.2%	△69
	その他	△2	△18	△2	16	-	△6
	調整額	△7	△29	△32	△38	-	△107

* 結婚関連事業において、株式会社フルスロットルズを第4四半期よりPL連結

* 2019年7月1日付で、株式会社オウチーノのメディア事業である「ヨムーン」を会社分割し、新設会社である株式会社くらしにくふうに承継(同社はセグメント分類上「その他」区分に計上)



アールキューブ社、Zaim社、フルスロットルズ社の取得に伴い対期首で増減

(単位:百万円)		19/9期	19/9期	対期首増減	増減要因
		期首残高 (参考)	期末残高		
資産	流動資産	4,551	2,631	△1,919	株式取得に伴い、 現預金が減少、 のれんが増加
	固定資産	500	3,211	+2,710	
	資産	5,051	5,842	+791	
負債および純資産	負債	303	959	+656	取得会社の連結開始に 伴い増加
	純資産	4,747	4,882	+135	
	負債および純資産	5,051	5,842	+791	



3. 結婚関連事業



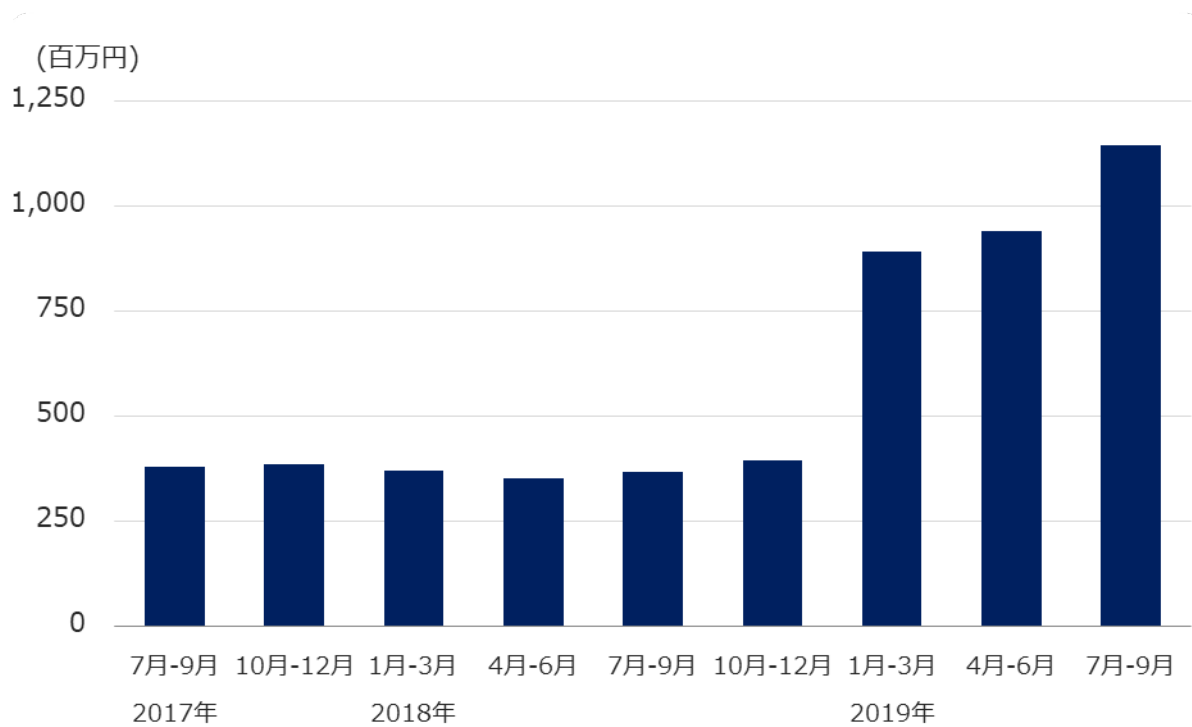
アールキューブ社、フルスロットルズ社の参画により「メディアと結婚式プロデュース」の融合に向けた足がかりを獲得、事業利益拡大フェーズへ

- 事業ビジョン「えらべる結婚式をお得な価格でつくる」のもとに「結婚式開催数」を重要指標に設定、3社の運営一体化に向けて組織開発を推進
- メディア・結婚式プロデュース・ドレス販売の相互送客が各社の利益に寄与
- さらなるシナジー創出に向けて、みんなのウェディング社とアールキューブ社の組織統合を検討開始

結婚関連事業 売上高推移



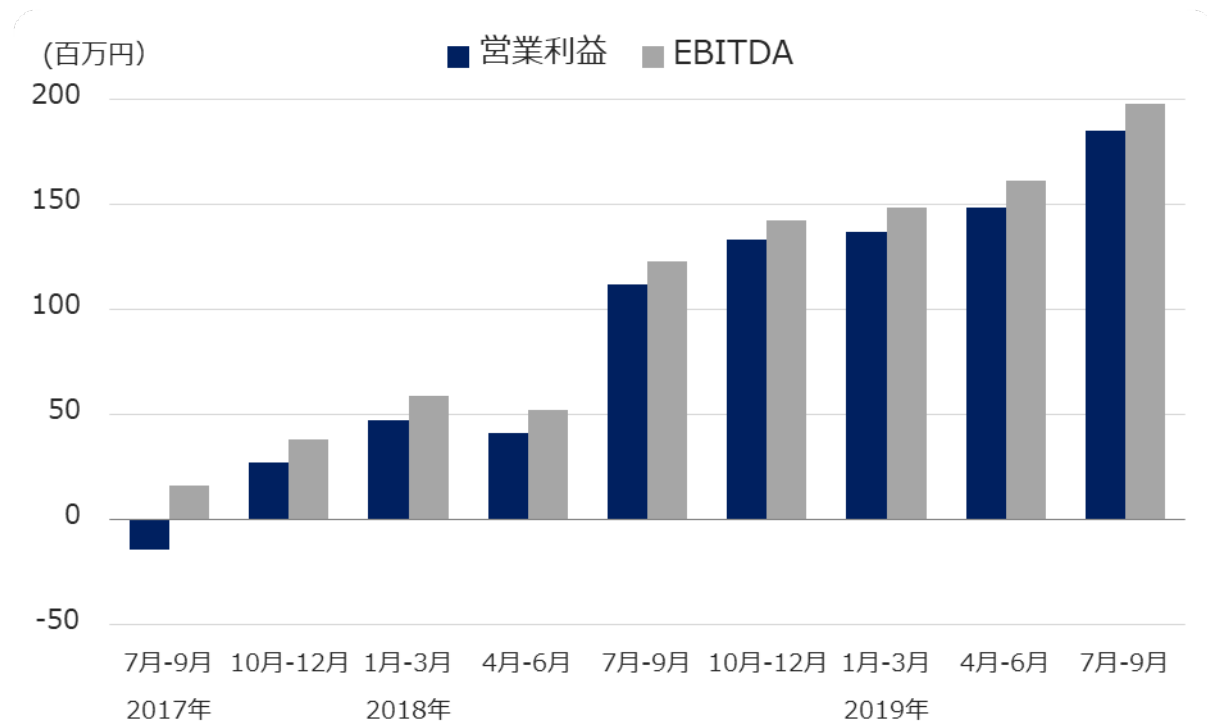
7-9月の売上高は1,146百万円 (前四半期比 121.6%)、メディア収益は引き続き堅調に推移、結婚式プロデュースサービスは9月の結婚式開催数が大きく伸長



結婚関連事業 営業利益・EBITDA推移



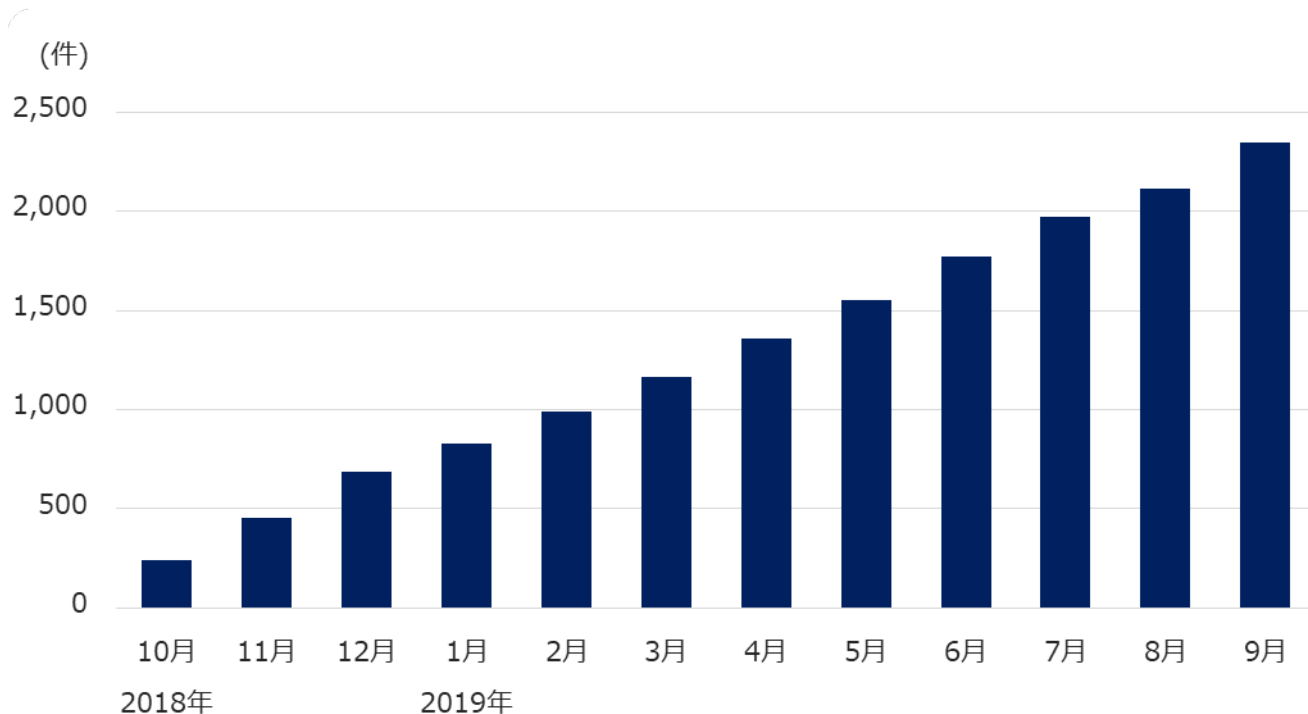
7-9月のEBITDAは197百万円 (前四半期比 122.7%)、
結婚式プロデュースサービスの増収に伴い、営業利益も伸長



結婚関連事業 結婚式開催数（累計）



今期の「当社グループの提供サービスを活用して開催された結婚式の開催数」*1 は 2,346件で着地、引き続き年間開催数10,000件の早期到達を目指す



*1 アールキューブ社がプロデュースした結婚式開催数と「みんなのウェディング」経由での結婚式開催数の合算値



4. 金融関連事業



Zaim社は2019年1月のグループ参画後、サービスプランの見直しやグループ内リソースを活用したサービス開発を推進

- 有料課金サービス (Zaimプレミアム) は新たに年プラン4,800円 (税込) を提供開始、ユーザーとの安定的かつ長期的な関係構築を強化
- キャッシュレス還元のある店舗やキャンペーンを一覧化したコンテンツ^{*1}をタイムリーに公開、テレビ等外部メディアでも話題となり、ユーザー数の増加に寄与
- Zaimの利用データからわかる購買分析情報サイト「Zaimトレンド」をテスト公開

*1 「キャッシュレス還元マップ」に関するお知らせ <https://zaim.co.jp/news/archives/4635>
「Zaimオトクカレンダー」に関するお知らせ <https://zaim.co.jp/news/archives/4810>



保険のくふう社は2018年11月の設立以降、生損保の取扱体制の整備とともに、グループ内資産を活かした生活者への販売接点構築を推進

- 保険のくふう社において「結婚式キャンセル保険」の取扱いを開始、アールキューブ社での導入を皮切りに結婚式場への販売に注力
- 生命保険11社、損害保険2社の取扱いを開始
- ふくろう少額短期保険社は引き続き取得に向けて進行中



5. 不動産関連事業



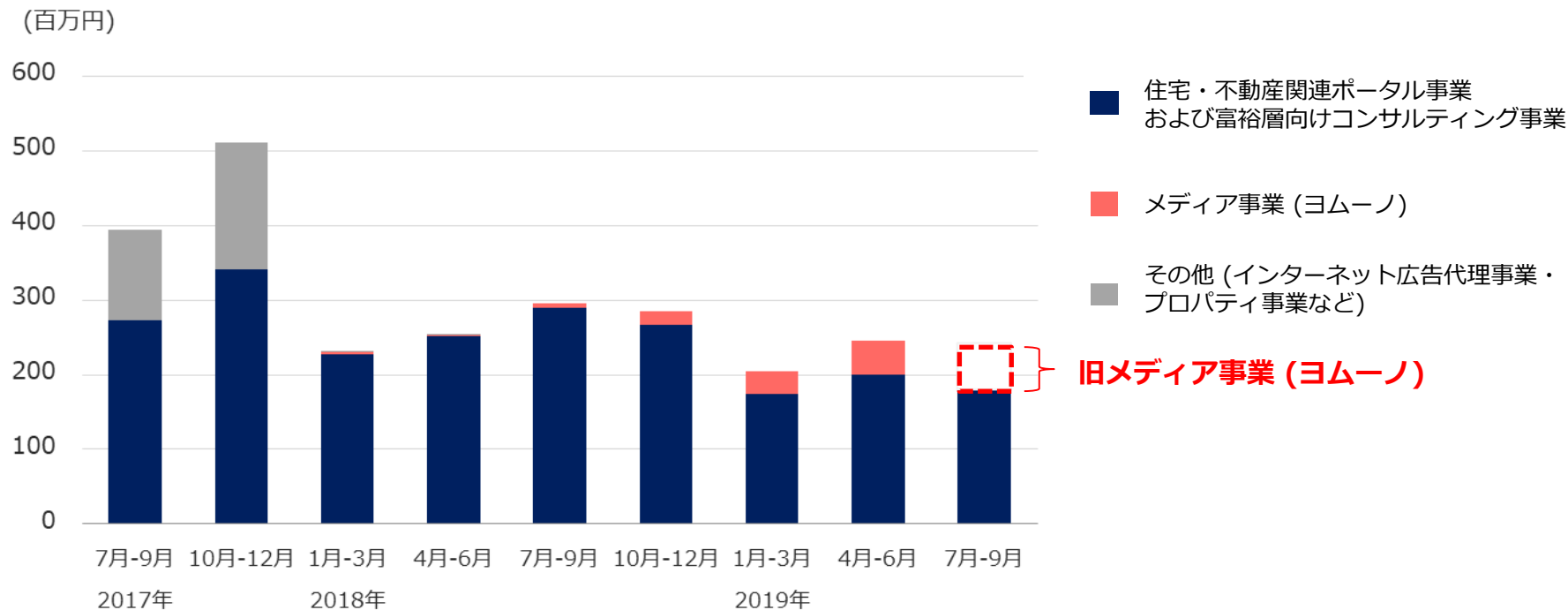
黒字転換後のオウチーノ社は安定的に利益を創出、今後の不動産関連事業領域全体での成長拡大に向けた土台を構築

- 物件数や記事コンテンツの増加、新しいサービス開発等によるメディア強化施策に伴い、ユーザー数が大きく増加
- 既存サービスの集約と新たな法人向け事業（不動産会社向けの営業支援ツールサービス「くらすマッチ」）の立ち上げにより、収益構造を変更
- グループ内リソースの再配置による人員規模の最適化等を実施

不動産関連事業 売上高推移



7-9月の売上高は180百万円 (前四半期比 73.9%)、「くらすマッチ」が順調に推移するも、富裕層向け事業の売上計上時期のぶれとメディア事業分社化に伴い減収

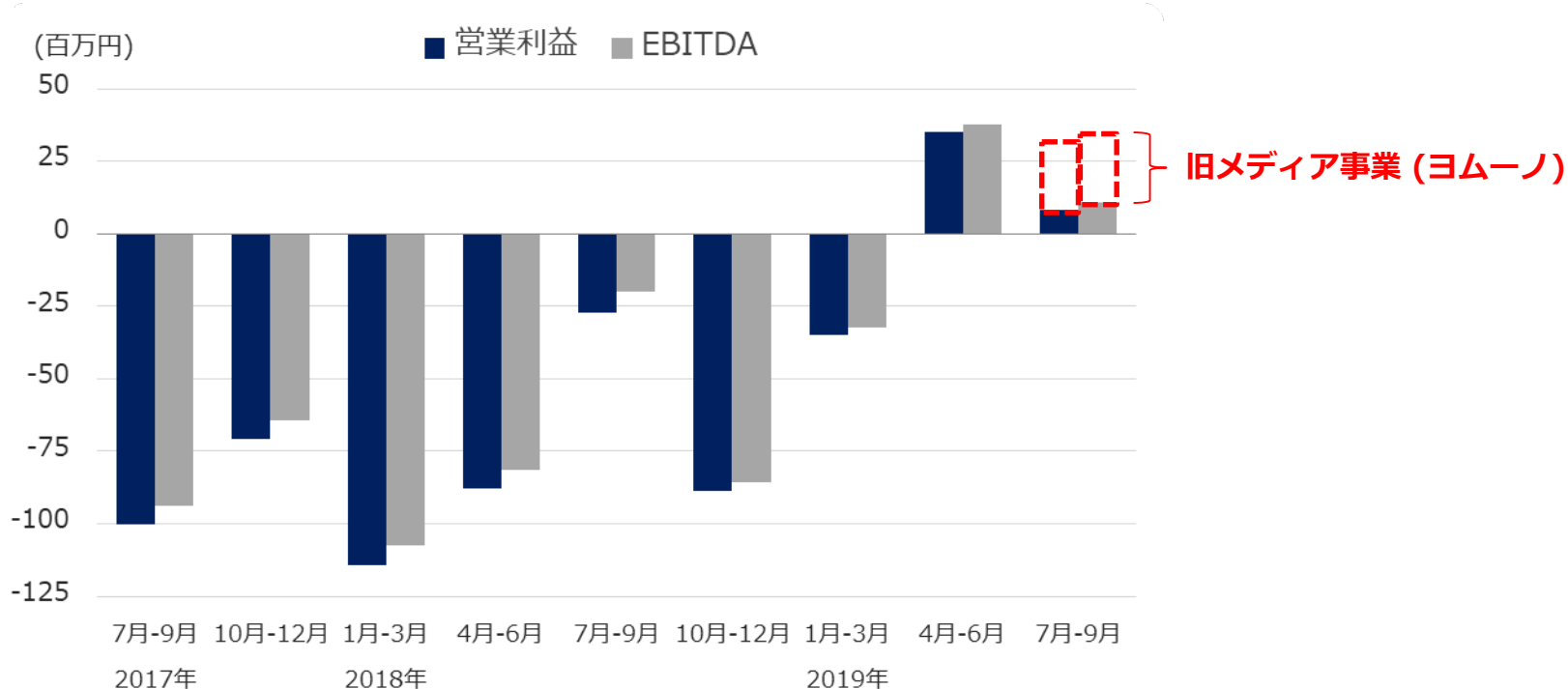


* 2019年7月1日付で、株式会社オウチーノのメディア事業である「ヨムーノ」を会社分割し、新設会社である株式会社くらしにくふうに承継 (同社はセグメント分類上「その他」区分に計上)

不動産関連事業 営業利益・EBITDA推移



7-9月のEBITDAは10百万円 (前四半期比28.2%)、オウチーノ社はメディア事業分社化後も堅調に利益を創出するも、富裕層向け事業の売上計上時期のずれにより減収

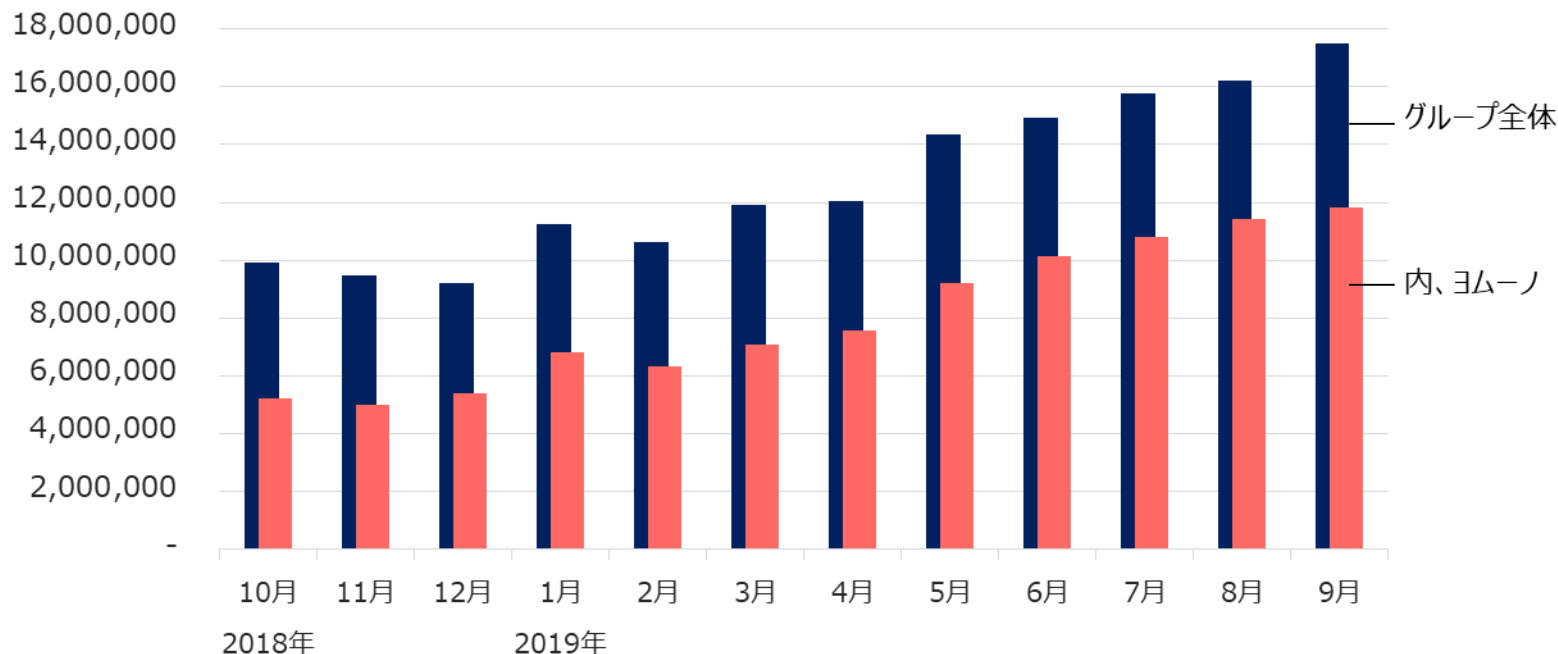


* 2019年7月1日付で、株式会社オウチーノのメディア事業である「ヨムーノ」を会社分割し、新設会社である株式会社くらしにくふうに承継 (同社はセグメント分類上「その他」区分に計上)

グループUU数推移



「ヨムーノ」は2019年6月に1,000万UU突破以降も堅調に推移、
その他のグループメディアも成長に向けたグループ横断的な取組みに着手



* 「ヨムーノ」「みんなのウェディング」「オウチーノ」「Zaim (アプリ)」の利用者を対象に、ブラウザベースまたは端末ベースにより集計

くふうで生活を賢く・楽しく

=お問合せ=

経営管理部 IR担当

E-mail ir@kufu.co.jp

HP <https://kufu.co.jp>

